

モンゴル 障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2 ニュースレター

Topics

- START2が終了します
- インクルーシブ教育に関するこれまでの成果を紹介します
- 幼稚園教員向け「インクルーシブ教育実践チェックリスト」の活用法を紹介します
- 自閉症について正しい理解を深めましょう
- START2が作成したインクルーシブ教育に関する成果品を公開しています

2024年5月
第5号



ニュースレター第5号をご覧いただきありがとうございます!これがSTART2最後のニュースレターになります。これまで発行したニュースレターを含め、皆様にとって役立つものとなっていれば嬉しいです。ぜひ今後もご利用ください!

START2が終了します

2020年9月に開始した「障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2」もまもなく終わりを迎えます。この4年間(フェーズ1から数えると計8年間!)、START2のために尽力くださったすべての方に御礼申し上げます。START2が終了しても、モンゴル全国においてインクルーシブ教育が実施され、すべての子どもたちが、それぞれのニーズに合った発達支援や教育サービスが受けられることを願っています。

インクルーシブ教育に関するこれまでの成果を紹介します

■ 活動地域の広がり

ウランバートル市

幼稚園25園と学校25校を選定し、インクルーシブ教育計画策定支援、モニタリング・助言活動を実施。

インクルーシブ教育に関する基礎的な知識や園内・校内委員会の活動について等、計28回の研修を実施しました。

2021

中核県

トゥブ県、ドルノド県、ウムヌゴビ県、フブスグル県、ホブド県を中核県として選定し、各県から幼稚園2~3園、学校2校の計11園と10校を選定しました。2022年から2023年にかけて各県計3回のモニタリングを実施し、インクルーシブ教育推進に関する助言活動をおこないました。

2022

IEP作成や支部委員会の活動について等、計91回の研修を実施しました。

2023

全国

ウランバートル市および中核県を除く、全国16県を訪問し、幼稚園および学校のモニタリング・助言活動を実施したほか、就学支援会議開催への助言や教育局との面談を実施しました。

2024

対面やオンラインで、計26回の研修を実施しました。

■ モンゴルのプロジェクト関係者の声

私は2003年から障害児担当として教育局で働き始め、昨年からはインクルーシブ教育(IE)担当官として勤務し始めました。当初は、IEがどういった教育なのか、IE担当官として具体的にどのような業務を実施すればよいのかなど、不明な点が多くありました。その後、教育省や教育総合庁、START2等による研修を受講したり、UB市やトゥブ県で実施されたモニタリングに参加したりしたことで、IEへの理解が深まり、IE担当官として実施すべき業務の方向性が明確になりました。現在は、教育局の初等教育担当官や就学前教育担当官と協力して、ドルノゴビ県のIE普及計画を作成し、計画に沿って活動を推進しています。県内の幼稚園や学校をモニタリングしていると、どの幼稚園・学校も園内・校内委員会が中心となって、特別な支援が必要な子どもも教育に参加できるよう、IEを推進しようと努めている姿をみることが出来ます。特別な支援が必要な子どもに応じた指導法の工夫や学習環境の整備、教員をはじめとする人材の育成など、改善すべき課題もありますが、これからもドルノゴビ県におけるIE推進のため、尽力していきたいです。

ドルノゴビ県IE
担当官
Munkhtsetseg
氏



START2とともにモニタリングを実施した様子

幼稚園教員向け「インクルーシブ教育実践チェックリスト」の活用法を紹介します

各幼稚園がインクルーシブ教育の進捗状況を定期的にチェックするための「インクルーシブ教育実践チェックリスト」。その活用方法と記入時のポイントをご紹介します！

活用のステップ（推奨）

1. 新学年度直後、もしくは対象児が入園後、担任や園内委員会がチェックリストを記入する。
2. その結果を園内委員会で評価し、改善が必要な項目に対する園の方針を決める。
3. 教育局の就学前担当官が幼稚園を巡回する際、本チェックリストの結果を確認し、行政上、必要な対策を講じる。

チェック項目	進捗状況				コメント(あれば)
	よくできている	少しできている	できていない	あてはまらない	
教員 各園でチェック項目を追加する必要がある場合には、園内委員会で討議し、追加しても良い。					
クラスの活動は、各子どもの興味、能力、スキルを理解したうえで、計画されていますか？					対象児(例:視覚障害児)がいない場合には、「いいえ」ではなく、「あてはまらない」にチェックする。
発語が困難な子どもには、絵カードを利用したり、動作、声などを表したりしてもらおうなど、様々な表現ができるような工夫をしていますか？					
1日の流れや手洗いの流れなどは、絵や写真などの視覚的な情報も使って分かりやすく提示されていますか？					教員が行う授業や室内の環境が、すべての子どもにとって参加しやすいか/子どもの成長に向けた工夫・配慮をしているかの問いが含まれる。
聴覚障害児がいる場合、手話もしくは分かりやすくゆっくり話す、口頭で伝えたことを書いて補足する、など必要な配慮を行っていますか？					
知的な発達の遅れがある/疑いのある子どもがいる場合、ゆっくり、明確に、ていねいに、繰り返し、説明して理解できるようにしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
モンゴル語が第一言語ではない子どもに対し、追加で学習する機会は設けられていますか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		今は「いいえ」だが来学期実施する計画である、もしくは提案などがあれば、簡単に書き留めておくとよい。
他の教員にクラスの活動や支援が必要な子どもの様子を見てもらい、コメントを貰う機会はありますか？					
個別教育計画の作成・実施で得られた子どもの課題や成長を、他の教員や指導教諭、園長へも共有し、幼稚園全体で取り組む体制はありますか？					
インクルーシブ教育の理念や指導について、教員研修を受けたり、図書などを读んだりして学ぶ機会はありますか？	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
園内環境					幼稚園の環境は身体・視覚障害児らにとってアクセシブルか否かの問いが含まれる。また、自閉スペクトラム症の傾向のある子どもに対し、「一人で休めるスペース」を用意しているかなども含まれる。
園舎(教室、ろうか)や園庭は、車いすやクラッチを使う子どもにとってアクセシブルですか？(広さは十分か、階段以外の方法があるか)					
自閉スペクトラム症の傾向や過敏さ・不安の強い子ども等が落ち着く、教室に自然(木・植物)や一人で休めるスペースはありますか？					
視覚障害児や通常の図書を利用することが困難な子ども向けにあるデジタル絵本(教材)やICT機器などを導入していますか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
幼稚園全体での取り組み					幼稚園全体で支援を要する園児への対応に取り組んでいるかについての問いが含まれる。幼稚園管理職の記入が推奨される。
教員は園内委員会でその他の教員と情報共有し、障害児、他民族の子ども、転校生などが園生活に馴染めるよう、幼稚園全体で配慮していますか？					
多様なニーズを有する子どもに必要な教材のために、学習・実践予算から5%以上を支出できていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
保護者との連携					教員が保護者と定期的にコミュニケーションを取り、家庭における子どもの様子を確認したり、保護者の子どもに対する懸念について話し合ったりする機会があるか、などが問われる。
すべての保護者の子どもに対する懸念や成長、興味、ニーズについて話合う機会はありますか？					
保護者との面談を通じ、家で障害児がどのようなコミュニケーション方法をとっているか、把握していますか？	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

教職員全員への啓発ツールとしても活用しよう

本チェックリストは、園内委員会メンバーだけでなく、教職員全員にも一度はチェックしてもらいましょう。「インクルーシブ教育とは何か」を理解してもらえ、幼稚園全体での協力体制を構築するのにも役立ちます。



自閉症について正しい理解を深めましょう

幼稚園や学校を訪問した際に、「自閉症について知りたい」という声が多く聞かれました。ここでは、自閉症についてその特性をご紹介します。詳しく知りたい方は、次のページにある自閉症の動画やハンドブックをご覧ください。

特性や特徴は人によってさまざま

アメリカ精神医学会の診断基準DSM-5が発表されてから、「自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder)」と呼ばれるようになりました。「スペクトラム」とは連続性という意味です。

自閉症の方の特性や抱えている課題は人によってさまざまであり、線引きできるものではなく連続しているという理解から、「スペクトラム」と診断名に入るようになりました。例えば、発語のない人もいれば、言語能力が非常に高い人もいますし、こだわりの強さや対象も人によって違います。

原因はまだ解明されていない

自閉症になる原因は、まだ詳しく解明されていません。親の育て方や虐待、何か精神的にショックが大きい出来事によるトラウマが原因と考えられていた時期もありましたが、それは違います。生まれつき、脳の情報処理を行う中枢神経系に特性があるためと考えられています。3歳くらいまでに診断されることが多く、18ヶ月健診でその可能性を指摘される場合もあります。周囲に正しく理解してもらえず、適切な支援を受けられない場合は、不安を抱えたり不登校になったりなど、二次的な問題が出ることもあります。

特性：人とのかわりが難しい

人に対する関心が弱く、他人との関わり方やコミュニケーションの取り方が独特です。相手の気持ちや状況といったあいまいなことを理解するのが苦手で、事実や理屈に基づいた行動をとる傾向にあり、結果として友達が嫌な思いをしたり、自分勝手に行動していると思われることもあります。特徴的な行動として、以下のような例があります。

- ◆幼少期に「バイバイ」をするとき、手のひらを自分に向ける。
- ◆幼少期に人見知りや親の後追いをしない。
- ◆誰かと会話をしているとき、表情や声のトーン、視線などから相手の気持ちをくみ取ることができない。
- ◆自分が好きなもののことを話し出すと止まらず、相手が聞いていなくても話し続ける。

特性：興味や行動の幅が狭く、限定的である

特定のものやルールに強いこだわりを示したり、いつも繰り返し行っている習慣にこだわりがあったりして、例えば予定が急に変更されるとパニックを起こしたりします。自分の関心ややり方、ペースを維持することを最優先にしたいので、柔軟に行動することが難しい場合が多いです。特徴的な行動として、以下のような例があります。

- ◆幼少期に同じアニメの同じ場面を繰り返し見続けたり、ぴよんぴよんと飛び跳ね続けたり、同じ行動を延々と繰り返す。
- ◆ご飯を食べる順番や身の回りのものの置き場所等に決まりがあり、いつも同じでないと気が済まない。
- ◆車や歴史、数字等、知識で覚えられような特定のものに強い興味や情熱を持つが、その範囲は限定的。
- ◆一つのことに集中しすぎてしまうことがある。

特性：感覚の過敏さまたは鈍感さがある

感覚が過敏、反対に鈍感であったりします。過敏さはしばしば見られ、大きな音が苦手や耳をふさいだり、特定の味覚や口の中の触覚に過敏さがあり、食べ物の好き嫌いにつながることもあります。これも人によってさまざまですが、以下のような例があります。

- ◆寒い日に薄着をしたり、暑い日にコートを着たりしても気にならない。
- ◆体の動かし方を習得できず、走り方や動作がぎこちない。
- ◆白い紙を見ると目がチカチカして、書いてある文字が読みづらい。
- ◆洋服のタグや縫い目が肌に当たって気になり、服を着ることができない。

支援の基本：特性に合わせ、安心して過ごせる環境を作る

自閉症の子どもが持つ特性に合わせて、できる限り生活環境を調整することが、支援の基本的な姿勢です。例えば、「構造化」という方法があります。これは、いつ、どこで、何を、どのようなやり方で、どうなったら終わりののか、終わったなら次に何があるのか、を具体的に伝えることです。これを普通の授業やクラス環境に取り入れることができます。例えば、1日のスケジュールをイラストや文字で示して壁に貼っておくと、目で確認しながら準備できるので本人にとって安心につながります。

私の朝のルーティン



スケジュールの例。終わったなら□にチェックを入れる。

START2が作成したインクルーシブ教育に関する成果品を公開しています

プロジェクトでは、関係者の皆さんの参考となるハンドブックや映像資料を作成しました。ハンドブックはウェブサイトからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。



【障害児を就学させるための規則集】
教育省によって編纂されたインクルーシブ教育に関する規則集です。



【支部委員会の活動に関する法令集】
社会保障省によって編纂された障害のある子どもの支援に関する法令集です。



【インクルーシブ教育に関する講義動画】
教育総合庁とともに作成した、インクルーシブ教育に関する講義動画です。動画はMedlee.mnから視聴可能です。



【幼稚園向け：インクルーシブ教育実践マニュアル】
幼稚園の管理職や教員がどのようにインクルーシブ教育を進めればよいかを解説したマニュアルです。



プロジェクトでは、様々な団体と協力してミニ・プロジェクトを実施し、以下のハンドブックと映像資料を作成しました。以下のQRコードから閲覧（一部ダウンロード）できますので、ぜひご活用ください。



プロジェクトのフェーズ1で作成した成果品です。以下のQRコードから閲覧（一部ダウンロード）できますので、ぜひご活用ください。



【障害の重い子どものための指導法ハンドブック】
このハンドブックには、障害児の実態を把握し、個に適した学習を提供するための事例が載っています。



【1000語の手話カード】
手話を学ぶための絵カードです。日常生活に出てくる物や動詞などのイラスト、手話、指文字が描かれています。



【学習の遅れや行動に課題のある子どものための支援ハンドブック】
読み書き計算や行動に課題のある子どもについて理解を深めるためのハンドブックです。



【ビデオ教材】
「ダウン症の早期発見と理解」「乳幼児の発達」「自閉スペクトラム症」に関するビデオ教材です。



【日常で使う450単語集】
絵や写真を活用した教材であり、子どもの理解を促すための単語集です。



【自閉スペクトラム症の理解】
自閉スペクトラム症児の保護者や教員が自閉スペクトラム症に関する基本的な理解を深めるためのハンドブックです。



モンゴル国 ウランバートル市 スフバートル区 第1ホロー Avzaga trade building 505号室

<https://www.facebook.com/JICA.START.2>

<https://www.jica.go.jp/project/mongolia/029/index.html>

jicastart2@gmail.com

+976-80486690
+976-95937356

